

事業番号	事務事業名	母親クラブ補助金	所管課名	保健福祉課	令和 3 年度課長名	安道 智秋	
01940	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	子育て支援係	担当者・シート作成者	木村 隆子
	施策名	16	子育て支援の充実	根拠法令等	岡山県児童健全育成補助金交付要綱・鏡野町補助金等交付規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	地域における児童福祉の向上を図るため、子どもを事故や犯罪から守るための活動や親子・高齢者との交流活動、食の大切さを学ぶ文化活動など、積極的に地域で実施する自主的グループ(母親クラブ)に対して、補助金を交付し活動を支援する。	岡山県の地域における子どもの健全育成や子育て家庭の支援の充実のための補助金を受けて、平成20年度6団体、平成21年度からは7団体の活動を支援している。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア	母親クラブの活動	→	ア	団体	見込 実績	7 7	7 7	7 7	7 7	7 7
イ	母親クラブの会員	→	イ	人	見込 実績	330 381	330 352	350 355	350	350
ウ		→	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア	母親クラブが充実した活動をする	→	ア	人	目標 実績 達成率	330 381 115.5%	330 352 106.7%	350 355 101.4%	350	350 101.4%
イ		→	イ		目標 実績 達成率					
ウ		→	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容		⑥活動指標		単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア	補助金交付受付・審査・振込等	→	ア	件	目標 実績 達成率	7 7 100.0%	7 7 100.0%	7 7 100.0%	7	7 100.0%
イ		→	イ	件	目標 実績 達成率	7 7 100.0%	7 7 100.0%	7 7 100.0%	7	7 100.0%
ウ		→	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計		01 款		03 項		02 目		03 中事業		01 中事業		03 中事業		事業番号
	一般会計		民生費		児童福祉費		母子福祉費		03 01		03 01		母親クラブ補助金		01940
予算(千円)	1 年度実績	2 年度実績	3 年度実績	4 年度見込	5 年度見込	前年比	決算(千円)	1 年度実績	2 年度実績	3 年度実績	4 年度見込	5 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金	354	354	354	202	202		県支出金	354	152	188	202	202	36		
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	710	710	710	862	862		一般財源	710	912	876	862	862	-36		
合計	1,064	1,064	1,064	1,064	1,064		合計(A)	1,064	1,064	1,064	1,064	1,064	0		
財源名称	岡山県児童健全育成補助金						従事正職員人数	1	1	1	1	1			
							延べ業務事務時間	8	10	10	10	10			
							人件費計(千円)(B)	28	33	34	34	34	0		
	最終予算額		1,064 千円		予算執行率		100.0%		トータルコスト(A+B)		1,092	1,097	1,098	1,098	1,098
主な支出事業内容(予算)	地域組織活動育成補助金					1,064 千円		主な支出事業内容(決算)	地域組織活動育成補助金					1064 千円	

事業番号	01940	事務事業名	母親クラブ補助金	所管課名	保健福祉課
------	-------	-------	----------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
平成19年度に国の要綱改正、定額189千円/クラブから152千円/クラブに減額され、平成25年度からは補助率が2/3から1/2に、平成26年度からは1/2から1/3に減率された。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
補助事業のため、県の補助金交付要綱の改正に準じて実施してきた。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
母親クラブの規模に偏りがあり、一律の補助金では不公平という意見がある。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 理由説明 地域における子育てと、子育ての仲間づくりに繋がる事業であり、政策体系に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せるとはできないか?)
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 理由説明 児童の健全育成を図るため、地域の組織活動を育成支援することは重要であり、町が関与するべき事業と考える。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である 理由説明 町で積極的に活動する自主グループである母親クラブが対象であり、対象と意図は妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している 理由説明 各クラブとも積極的な活動ができており、成果は目標水準に達している。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある 理由説明 廃止等した場合には、クラブの財源がなくなり母親クラブの活動が縮小する。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない 理由説明 母親クラブの規模の差が大きく、人数に応じた適正な補助金の配分に改善の余地がある。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由説明 小規模のクラブは、財源も少なくこの補助金がなければ活動ができないため削減は困難。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由説明 兼務で事務を行っており、削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 公平・公正である 理由説明 母親クラブの人数規模の差が大きく、活動経費に占める補助金の率に、現状では不公平が生じている。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果	② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																					
A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり D 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり	・母親クラブの規模の差が大きいため、岡山県児童健全育成補助金交付要綱に基づく一律の補助金では不公平である。 ・県の要綱では、会員数が30人以上でなければ補助金が交付されないこととなっているが、令和3年度は20人以上と緩和され、4クラブが補助対象となった。 ・母親クラブの人数規模の差が大きく、活動経費に占める補助金の率に、現状では不公平が生じており、配分の段階的な見直しが必要である。																					
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	④ 担当課としての事業の方針																					
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 ・クラブの規模に応じた補助金交付を段階的に進めていく。 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																						
・小規模のクラブの活動に影響がないよう、クラブの理解を得ながら進めていく必要がある。																						